

# 神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

## 第 180 号

平成 20 年 2 月 20 日発行  
病原体检出は平成 19 年 10 月分

### 話題

**麻疹（はしか）の届出が増加しています。**

#### 麻疹届出状況

平成 20 年 1 月から、麻疹及び風疹が全数報告の対象疾病になりました。第 1 週から第 6 週までの神奈川県の報告数は 595 件です。保健所別の届出状況では、横須賀市保健所 227 件、横浜市保健所 214 件、続いて鎌倉保健所 61 件、川崎市 33 件となっています(表 1)。

全国では第 6 週まで 1556 件、届出の多い都道府県は神奈川県 595 件、福岡県 212 件、北海道 164 件、東京都 125 件、秋田県 110 件となっており、5 都道府県が 100 件を超えています(表 2)。

表 1 保健所別報告数(平成 20 年 1~6 週)

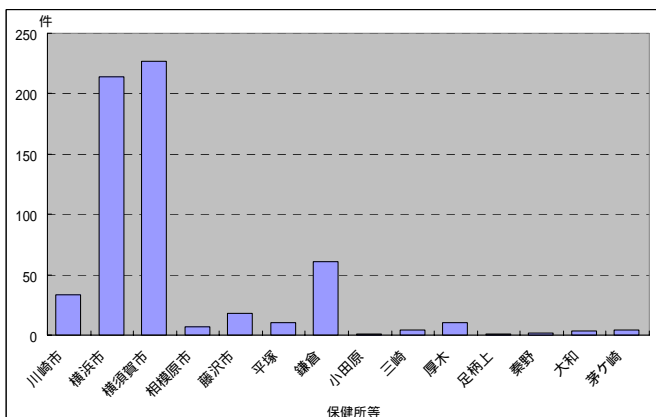
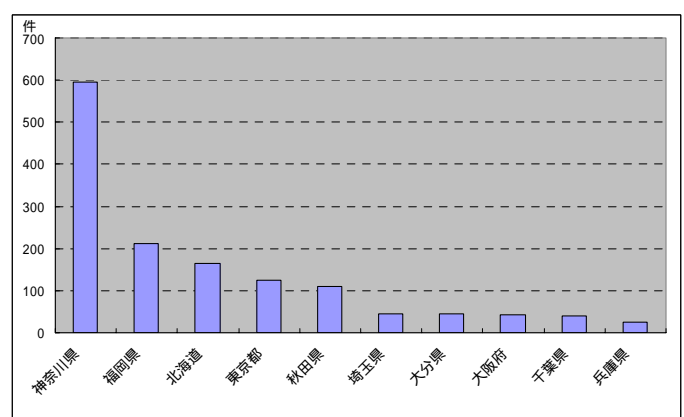


表 2 全国の届出上位都道府県(平成 20 年 1~6 週)



#### 麻疹ウイルスの検出状況

平成 20 年に入り全国では、1 月に秋田県から 16 件、大阪府から 3 件、三重県から 1 件、2 月に秋田県から 1 件、計 21 件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されています。

2007 年 1 月以降の麻疹ウイルスの分離・検出状況は図のとおりで、遺伝子型別では D5 型が最も多く分離・検出されています。

**なお、麻疹の予防には予防接種が最も有効です。**

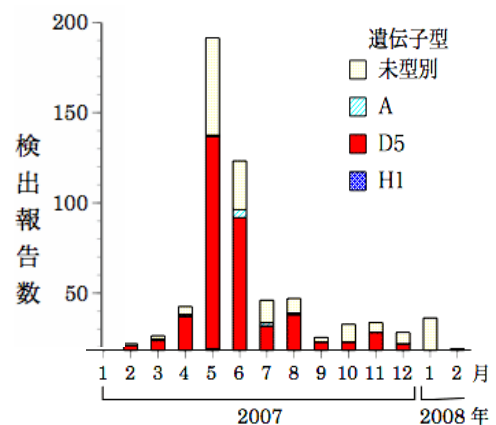


図 麻疹ウイルス分離・検出状況 IASR

# 病原体検出

表 1 病原体検出状況(保健所等別) 平成 19 年 10 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査													病原体定点 1				合計			
	平塚保健所	鎌倉保健所	小田原保健所	茅ヶ崎保健所	三崎保健所	秦野保健所	厚木保健所	大和保健所	足柄上保健所	津久井保健所	県域外発生関連調査	横須賀市保健所	相模原市保健所	藤沢市保健所	計	小児科	インフルエンザ		眼科	基幹	その他の医療機関
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)											1		1							1
	その他の大腸菌 2											1		1							1
	サルモネラ 07群			1										1							1
	サルモネラ 09群												12(12)	12(12)	2(2)						14(14)
	カンピロバクター・ジェジュニ						7	2					4	13	2						15
	黄色ブドウ球菌												1	1							1
	ウエルシュ菌										1			1							1
	A群溶血レンサ球菌														3						3
	計			1			7	2			1	1	18(12)	30(12)	7(2)						37(14)
ウイルス・リケチア	インフルエンザ AH1					5						5	3	13	1					14	
	ポリオ 3														1					1	
	コクサッキー A16														4					4	
	エコー 30																	1		1	
	ノロ										5	5	10	1						11	
	サポ				2									2						2	
	オリエンチア ツツガムシ					1			7					8						8	
計				2	1	5	7			5	10	3	33	7				1	41		
合計			1	2	1	12	2	7		6	1	28(12)	3	63(12)	14(2)			1		78(14)	

1: 病原体定点の検出数は横須賀市、相模原市、藤沢市も含めた定点の合計を計上した。( )は海外渡航者数。

2: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

## <検出状況>

- 10月の病原体検出数は合計78件、細菌37件、ウイルス41件であった。

前月に比べて検出数が細菌は21件から37件と増加し、ウイルスは16件から41件と大幅に増加した。これは、感染症および食中毒発生に伴う行政検査等のウイルスの検出数が増加したためである。

- 感染症および食中毒発生に伴う行政検査等では細菌が30件、ウイルスが33件検出された。
- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が7件、ウイルスが7件、基幹定点からウイルスが1件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表 2 病原細菌検出状況(臨床診断別) 平成 19 年 10 月

	感 染 症										食 中 毒	有 症 苦 情	(依 保 菌 者 検 査 検 )	合 計
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	百 日 咳	淋 菌 感 染 症	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎				
検 査 検 体 数	5	5			3	3	16	8			29	58	1,903	2,030
腸管出血性大腸菌(EHEC)												1		1
その他の大腸菌 2												1		1
サルモネラ 07群													1	1
サルモネラ 09群							2(2)					12(12)		14(14)
カンピロバクター・ジェジュニ							2				9	4		15
黄色ブドウ球菌												1		1
ウエルシュ菌											1			1
A群溶血レンサ球菌						3								3
計						3	4(2)				10	19(12)	1	37(14)

1：依頼検査(保菌者検査)は、横須賀市、相模原市、藤沢市を除く。

海外渡航者数は(内数)として記載

2：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

<検出状況>

- ・ 腸管出血性大腸菌 O157(VT1&2 保有)が有症苦情事例より 1 件検出された。
- ・ サルモネラ O7 群が健常者より 1 件検出された。
- ・ サルモネラ O9 群が感染性胃腸炎患者より 2 件、有症苦情事例より 12 件検出された。いずれも海外渡航者(シンガポール)より検出されたもので、同一事例と思われる。
- ・ カンピロバクター・ジェジュニが感染性胃腸炎患者より 2 件、食中毒事例より 9 件、有症苦情事例より 4 件検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別) 平成19年10月

	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	平成19年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	1	16	1	49						1	5	2	2	1	11
毒素原性大腸菌(ETEC)	2			9				1		7					8
その他の大腸菌	1	1	11	28	1	4	1	2	1		3	5		1	18
パラチフス A菌															
サルモネラ O4群		1		2	1							3			4
サルモネラ O7群				6					2	1			1	1	5
サルモネラ O8群				2											
サルモネラ O9群	4			5	1					1		2		14	18
サルモネラ O13群												1			1
サルモネラ 群不明													1		1
腸炎ピブリオ				3								2	7		9
ブレジオモナス・シゲロイデス					1										1
カンピロバクター・ジェジュニ	6	2		38	1	4	1	15	9	12	9	6	4	15	76
カンピロバクター・コリ				1				1							1
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ								1	1				1		3
黄色ブドウ球菌			7	12	4			13	2		2		4	1	26
ウエルシュ菌		2	11	93	1	7			16	1				1	26
セレウス菌			1	1											
赤痢菌 ( <i>S. flexneri</i> )						1									1
赤痢菌 ( <i>S. sonnei</i> )	1		2	5								1	1		2
A群溶血レンサ球菌			1	39		1	4		3					3	11
コリネバクテリウム・ウルセランス				1											
淋菌				6											
マイコプラズマ・ニューモニエ	3	2	1	27	1										1
レジオネラ・ニューモフィラ	1			1											
合計	19	24	35	328	10	18	6	33	34	23	19	22	21	37	223

: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

< 検出状況 >

- ・ 腸管出血性大腸菌が9月に引き続き1件検出された。
- ・ カンピロバクター・ジェジュニが、9月に引き続き15件検出された。10月は、病原体定点、食中毒事例および有症苦情事例からの検出であった。
- ・ A群溶血レンサ球菌は5月以来の検出であった。

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断名別) 平成19年10月

	ウエストナイル熱	つつが虫病	デング熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹(成人麻疹を除く)	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	成人麻疹	その他	食中毒	合計
取り扱い検査件数		10		1			26	7					20		2		5	23	94
インフルエンザ AH1													14						14
ポリオ 3								1											1
コクサッキー A16								4											4
エコー 30															1				1
ノロ							5											6	11
サポ							2												2
オリエンチア ツツガムシ		8																	8
計		8					7	5					14		1			6	41

< 検出状況 >

- ・ オリエンチア ツツガムシが、つつが虫病患者から 8 件検出された。発生動向調査では、つつが虫患者の発生届けが 40 週 ( 10/1 ~ 10/8 ) から出された。
- ・ サポウイルスが 2 件、感染性胃腸炎集団発生事例から検出された。
- ・ ノロウイルスが 11 件検出された。その内訳は感染性胃腸炎の集団発生事例から 3 件、食中毒事例から 2 件、小児科定点の感染性胃腸炎患者から 1 件、他自治体で発生した集団事例の関連調査から 5 件の検出であった。
- ・ コクサッキーウイルス A16 型が 4 件、ポリオ 3 型が 1 件手足口病患者から検出された。
- ・ インフルエンザウイルス AH1 型が 14 件、インフルエンザ様患者から検出された。
- ・ エコーウイルス 30 型が 1 件、無菌性髄膜炎患者から検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別) 平成 19 年 10 月

	10月	11月	12月	平成18年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	平成19年累計
インフルエンザ AH1				45				1					2	14	17
インフルエンザ AH3				173	10	44	25	1				1			81
インフルエンザ B				3	25	11	18	2							56
パラインフルエンザ 1				2											
パラインフルエンザ 2		1		1											
R S			1	2											
ポリオ 1										1					1
ポリオ 3														1	1
コクサッキー A2													1		1
コクサッキー A4				25											
コクサッキー A5	2	1		4							2	2			4
コクサッキー A6												1	1		2
コクサッキー A10				2						2	14	7	1		24
コクサッキー A16	5	2	1	33			1	1	1		8		2	4	17
コクサッキー B2											1				1
コクサッキー B3				1											
コクサッキー B4											1				1
コクサッキー B5	2	1		5							2	1	5		8
エコー 6												1	1		2
エコー 18				8											
エコー 30				1										1	1
エンテロ 71		1	1	4	1				5	4	9		1		20
ムンプス				7											
麻 し ん									1	2					3
アデノ 1				1											
アデノ 2				1		1		1							2
アデノ 3				18	1										1
アデノ 4				2		1					1				2
アデノ 5									1						1
アデノ 37				1			1			1	1				3
アデノ 40/41				2							2		1		3
アデノ(型未決定)		1		2	1										1
単純ヘルペス 1	1	2	1	8	3	1				1			1		6
ロ タ			1	33	1	2	7	4	5	1					20
小 型 球 形				1											
ノ ロ	10	248	333	737	86	60	37	35	6	18	18			11	271
サ ボ			4	5	2	4	1		4	3	5			2	21
アストロ									1	1					2
デ ン グ				1											
未 同 定				3							1				1
オリエンチア ツツガムシ	1	2	1	4										8	8
合 計	21	259	343	1135	130	124	90	45	24	34	65	13	16	41	582

< 検出状況 >

- ・ 9月に引き続き、コクサッキーウイルス A16 型が 4 件、インフルエンザウイルス AH1 が 14 件検出された。昨シーズン(2006/07年)のインフルエンザウイルスの検出は1月からであったが、今シーズン(2007/08年)のインフルエンザウイルスの検出の出足は速い。
- ・ 10月に入り、ノロウイルス、サポウイルス、オリエンチア ツツガムシが検出された。

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況 平成19年10月

(神奈川県衛生研究所検出)

	病原細菌検出数及び検査検体数													
	食 品						環 境							
	10月			1-10月累計			10月				1-10月累計			
	食中毒等	除去検査	その他	食中毒等	除去検査	その他	海水 <sup>1</sup>	浴槽水等	食中毒等	その他	海水 <sup>1</sup>	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数	7	68	15	459	506	78		3	10		54	32	363	24
サルモネラ 04群					2	5								
サルモネラ 07群					4	8								
カンピロバクター・ジェジュニ	1			1		15								
カンピロバクター・コリ						4								
レジオネラ・ニューモフィラ 5群								1				1		
レジオネラ・ニューモフィラ 6群												1		
レジオネラ・ニューモフィラ 14群												1		
腸炎ビブリオ				1										
計	1			2	6	32		1				3		

1：河川水を含む。